石クリ通信

１月号

百回目のクリニック・コンサート

院長　石川　悟

十五年前クリニックを開業する時に、待合室でコンサートができたらいいな、と考え、音響のために天井を高くしてもらいました。音を吸収する絨毯やカーテンもないので、待合室では弦楽器の音がよく響き、聴く人にはもちろんのこと、演奏する側も非常に気持ちよく弾くことができます。予算の関係で大きなスペースを確保するのはできず、観客数に限りがあるので、演奏会の案内はあまり大々的に行わず、これまで９８回の演奏会を行ってきました。開業した日から昨年１２月までで計算すると、平均１．８か月に一回行ったことになります。

セミプロの人からアマチュア、子供から大人まで、たくさんの演奏家に出演してもらいました。一番回数が多いのは私自身と家族ですが、最もお世話になっているのはヴァイオリンの谷口和子さんとそのお弟子さんたちです。年に何回も素晴らしい演奏を聴かせてもらっています。日立総合病院長の渡辺泰徳先生は力強く軽快なピアノ演奏を何度も披露してくれました。ピアノ伴奏をよくお願いする山本きよみさんは、どんなリクエストにも応えてくれます。これまで、弦楽器はもちろん、フルート、トランペット、サクソフォンさらに尺八、お琴まで、いろいろな楽器の演奏を行ってきました。

来る一月十七日は９９回目、さらに４月には百回目の記念コンサートを行いたいと考えています。たくさんの人に聴いてもらいたい、と思う気持ちと、人数が多くて中に入りきれなかったら大変、という不安が交錯しています

年女の抱負

事務長　石川　都

新年明けましておめでとうございます。今年二〇二六年は、私の干支である午年、また〇回目の年女となりました。

昨年も一年通じ馬のギャロップ状態で、慌ただしく過ぎてしまったので、今年こそは少し落ち着き、ゆったりと丁寧に日々を過ごしたいと思っているところです。年相応の心身の衰えも貴重な年輪とし、心と体の声を聴きながら、長年培った経験値と笑顔で、何とか今の仕事や趣味を今年も続けてゆきたいものです。

そして今年の目標は「感謝」。毎日健康で過ごせるのも決して当たり前ではない年齢なので、それを恩寵と感謝し、自分が社会や周囲にできることを日々少しずつでも恩返し（恩送り）してゆきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

英国流クリスマス

庶務・ウェブ担当　石川　香

イギリス人の夫がウキウキ浮かれているクリスマス。今回は日本とは違う、英国流クリスマスの面白いポイントを取り上げようと思います。

まずクリスマスの食事。日本は２４日のイブの夜にお祝いしますが、イギリスは２５日です。（ドイツは２４日にお祝いします）イブは休みですが、翌日のクリスマスの準備をしたり、パブに行ったり、割合のんびりと過ごします。

クリスマスメニューは、大人数の時は七面鳥（ターキー）を焼きます。最近はコストコで冷凍のターキーが手に入るので、あまり苦労はないですが、付け合わせが大変です。ターキーと合わせるのは、ジャムのような甘酸っぱいクランベリーソース。サイドディッシュはジャガイモ、人参などのほかに、人参のような見た目でさつまいものような味がする「パースニップ」という根菜がありますが、日本ではあまり手に入りません。芽キャベツや、紫キャベツなども添えます。

クリスマスケーキは、何種類ものドライフルーツをブランデーに漬け込んで作る、どっしりと黒っぽいケーキです。このケーキを温め、生クリームを液体の状態でかけて食べます。日本の冷たくて軽いフワフワのいちごのショートケーキとは大違いで、「クリスマスケーキ」と期待して出された時の、子どもたちのガッカリ感はたまらないと思います。

プレゼントは、ツリーの下にサンタさんが運んでくれます。子どもたちは、トナカイには人参を、サンタさんにはショートブレッド（クッキー）と牛乳を用意しておきます。長い夜の大仕事だとお腹が空くだろうという心遣いです。朝起きたら、人参のへたと、食べこぼしの菓子くずがお皿に残っています。

部屋にかけた靴下（英語ではソックスではなくストッキング）にみかんが入っていると、プレゼントが届けられています。悪い子にはブラックサンタが、石炭を入れ、プレゼントはありません。クリスマス近くになると「いい子にしてないと石炭が入れられるぞ～！」というセリフは、親の常套句です。

最近日本でも増えて来た、アドベントカレンダーも子どもの定番の楽しみの一つです。１２月１日から、毎日、日付の番号をひとつずつ開け、その中にチョコが入っています。クリスマスを今か今かと心待ちにする子ども心ですね。

二〇二六年

看護師　太田　小百合

明けましておめでとうございます。今年は「丙午（ひのえうま）」年です。六〇年に一度しか訪れない丙午年は、躍動・成功・勝負運を象徴する干支とされています。新しい挑戦に光が差し、前へ進む力を感じられる、そんな一年になればいいなと思います。

謹賀新年

事務　吉田　政子

今年は、「午年」です。午年と言えば、一気に駆け抜けて活力に溢れ前進あるのみという、イメージがありますが、私は、パッカパッカとリズミカルに前進あるのみ程度で、健やかに過ごせたらなぁと思っています。

今年も、皆様にとって全て馬久行久ようお祈り申しあげます。どうぞよろしくお願いいたします。

賑やかなお正月

事務　森　多加子

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

毎年１月２日は、姉や甥家族が我が家に集まります。今年は昨年結婚した長男のお嫁さんも加わり、総勢１２名。食事の準備は大変ですが（笑）とても賑やかで楽しいお正月です。

謹賀新年

看護師　澤田　彰子

今年は６０年に一度の丙午です　以前は「丙午の女性は気性が荒く、夫の寿命を縮める」と言われていましたが、現代では火の要素を二重に持つ事から「エネルギッシュで変革の年」として捉えられているそうです干支にあやかりエネルギッシュな一年になるよう過ごしたいと思います。

今年もよろしくお願い致します。

お正月

看護助手　柴田　さち子

明けましておめでとうございます。

私の実家の両側は商店街でした。お正月が近づいて来ると、店の前に門松が立てられます。それを見ると、お正月が来るとワクワクしていました。お年玉も楽しみでした。

今はもう商店もなくなり、門松も見ることがなくなりました。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。